

科学★体験館NEWS

企画展『知ってる？ナナフシのななふしぎ展』



今年の夏休みに、企画展『知ってる？ナナフシのななふしぎ展』を開催しました。昆虫をテーマとした企画展は当館として初めてのことで、今年、当館に仲間入りした昆虫好き職員小島がナナフシに興味をもってもらおうと企画した展覧会です。

ナナフシは、昆虫の中でも枝のような見た目が特徴で、ナナフシのいろいろな生体展示や、擬態する昆虫を探すコーナー、日本や海外のナナフシの標本展示など、充実した展示となりました。それらの展示を見ながら、ナナフシの七つの謎を解いていくクイズ形式のワークシート

も用意しました。多くの昆虫好きの子どもたちがじっくり観察しながら参加している様子も見られました。また会期中の毎週木曜日にはガイドも行いました。実際に職員が育てたナナフシを紹介しながら、卵とフンを見分けてもらったり、ナナフシを手のにのせてふれあってもらったりする体験も行いました。産まれたての赤ちゃんナナフシを手のにのせて可愛がる子もいたり、大きすぎるナナフシの迫力にびっくりしたりする子もいました。



笑劇サイエンスショー

『ようこそ！不思議なしんちゃん食堂』

8月3日～7日に、夏休み恒例の笑劇サイエンスショー『ようこそ！不思議なしんちゃん食堂』が行われました。

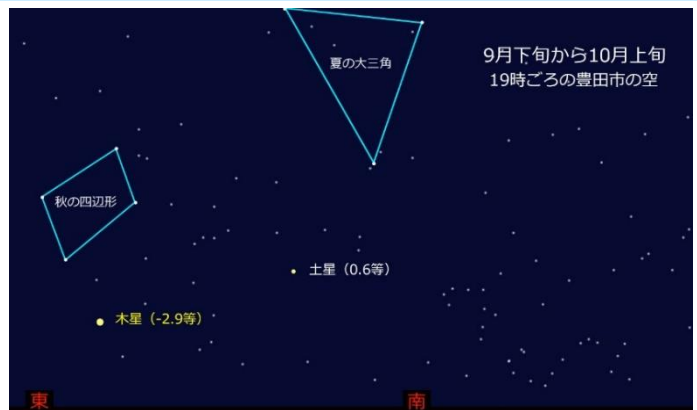
今年は、しんちゃん食堂を舞台に、当館のしんちゃん、アニータ、ももちゃん、そらくんが日替わりで笑劇波から来たあかねちゃんをおもてなしました。

しんちゃん食堂では、ジュースを振り回してもこぼれなかったり、リンゴジュースを抹茶に変身させたり、マシュマロを大きくしたり、あっと驚くおもてなしが続きます。最後に無限に出続けるアイスクリームを作ると、お客さんから「食べたーい」との声が上がりました。不思議な現象にカメラを向ける方もたくさんいました。

また参加の子どもたちには、火を使わずに手のひらに乗せるだけで焼けるイカをプレゼントしました。アンケートでは「来年も見たい」との声が多くあり、大盛況のショーとなりました。



☆天文トピックス☆ 木星と土星を見よう！



夏休みが終わり、太陽のしずむ時間も日に日に早くなってきました。

日の入りから宵にかけて、東～南東の空にひとときわ明るく輝く星があります。それは木星です。明るさは-2.9等で、1等星のおよそ40倍もの明るさがあります。月をのぞいてどの星よりも最初に輝く1番星です。そして、そこから少し西側にやや明るめの星がありますが、それが土星です。明るさは0.6等で木星ほどの明るさはありませんが目立って見えています。ちょうど「夏の大三角」から「秋の四辺形」へと季節が移り替わる空に2つの惑星が見えているのです。

惑星は、夜空の星座たちのように毎年同じ時期に見えるわけではありません。今年、木星と土星は秋から冬にかけて観望シーズンを迎えます。

昼間は暑さが残る日があるものの、夜は過ごしやすい気候となります。秋の夜長は外に出て木星と土星を探してみましょ。

「最強生物クマムシを発見、観察、生態を学ぶ」 小学4～6年生17人 学習指導要領発展ワークショップ① 7月28日



乾燥、超低温、超気圧、放射線、宇宙空間に耐える「最強生物クマムシ」は、中学校3年生の教科書に少しだけ載っています。最近、テレビやニュースなどで取り上げられ、参加者も名前は耳にしていたようです。

当館スタッフの地元から採集した、鴛鴨、乙部ヶ丘、御立公園などのコケや参加者が持ち込んだコケに給水し、各自顕微鏡でクマムシを探しました。顕微鏡を見続けること1時間以上。まさに無我夢中という言葉がぴったりのひと時でした。参加者の感想です。

「センチュウやワムシも見つけたが、クマムシを見つけた時の達成感はずごかった」

「クマムシをかわいいと思えたり、見つけることがとても楽しかった」

最後に、顕微鏡の扱い方をサポートしていただいた市教研理科部会の先生に感謝いたします。

(イエローマン)

